2024 年度年次報告書 原子・分子の自在配列・配向技術と分子システム機能 2021 年度採択研究代表者

是津 信行

信州大学 アクア・リジェネレーション機構 教授

固液電気化学相界面の多階層構造制御

主たる共同研究者:

古山 通久 (信州大学 先鋭領域融合研究群 教授) 長尾 祐樹 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授)

研究成果の概要

本研究課題「固液電気化学相界面の多階層構造制御」は、リチウムイオンおよびナトリウムイオ ン電池における固液界面構造と電気化学性能の関係を探求し、材料設計の高度化を目指すもの である。2024 年度は、基礎研究として 5 つのテーマで顕著な成果を上げた。第一に、**O3/P2 ハイ** ブリッド型 NaxTMO2正極材料では、従来困難とされた O3/P2 相の存在比制御に成功し、Ti および Cuによる多元素置換の効果を明確化した。Na組成の微調整やK置換を通じて構造安定性とサイ クル特性の向上が達成された。また、計算科学的手法により原子配置と反応特性を結び付ける構 造モデルを構築した。第二に、ハイニッケル系 LiNio.sTMo.2O2正極材料に対して、多元素化による 構造安定化と高電圧条件下での歪み抑制を実現した。機械学習と NNP を組み合わせたハイスル ープット組成探索により有望材料を抽出し,実験と連携した高信頼性な材料開発が進展した。第 三に、Wadsley-Roth 型 TiNb2O7系負極材料において、Ta や他元素の多元素置換による構造歪 み制御とサイクル特性向上を確認した。占有率や八面体歪みの定量化, Operando XRD による構 造可逆性の解析から,格子変形の緩和と構造安定性向上が実証された。第四に,ASPI-Li 誘導 体によるリオトロピック液晶電解質開発により、界面構造・イオン輸送制御にも新知見が得られた。 特に,π系骨格主鎖の剛直性や側鎖の親疎水分離特性の異なる ASPI-Li 誘導体において,電解 液溶媒の補液により形成される ASPI-Li 誘導体薄膜の組織構造とリチウムイオン伝導度の関係を 明らかにした。ASPI-Li 誘導体主鎖の運動性や分極率とイオン伝導度に一次相関し、リチウムイオ ン伝導機構に主鎖のイミド環の寄与が明らかになった。以上の成果は、次世代電池材料の実用化 に向けた学術的・技術的基盤を形成するものである。

【代表的な原著論文情報】

- T. Chen, E. Otal., Q. T. Nguyen, S. Narumi, M. Koyama, N. Zettsu*, Molecular dynamics simulation of polymer electrolyte membrane for understanding structure and proton conductivity at various hydration levels using neural network potential. *Chemistry of Materials*, 2025, 37, 2, 709–723.
- 2) H. Shiiba, M. Koyama, N. Zettsu*, K. Teshima, Li-Ion Conduction Characteristics at Grain Boundaries in Garnet Li7-xLa3Zr2-xNbxO12 ($0 \le x \le 2$). *Chemistry of Materials*, 2024, 36, 13, 6370–6380.
- 3) A. Taborosi*, H. Shiiba, M. Koyama, and N. Zettsu*, Exploring electrolyte adsorption on the different types of layered cathode surface in lithium-ion batteries via a universal neural network potential method. *ACS Omega*, 2024, **9**, 42116–42126.
- 4) A. Taborosi*, K. Aoki, N. Zettsu, M. Koyama, Y. Nagao, Molecular dynamics simulation of polymer electrolyte membrane for understanding structure and proton conductivity at various hydration levels using neural network potential. *Macromolecules*, 2025, **58**, 3720–3727.
- 5) T. Honbo, Y. Ono, K. Suetsugu, M. Hara, A. Taborosi, K. Aoki, S. Nagano, M. Koyama, Y. Nagao*, Effects of Alkyl Side Chain Length on the Structural Organization and Proton Conductivity of Sulfonated Polyimide Thin Films. *ACS Appl. Polym. Mater.*, 2024, **6**, 13217.